

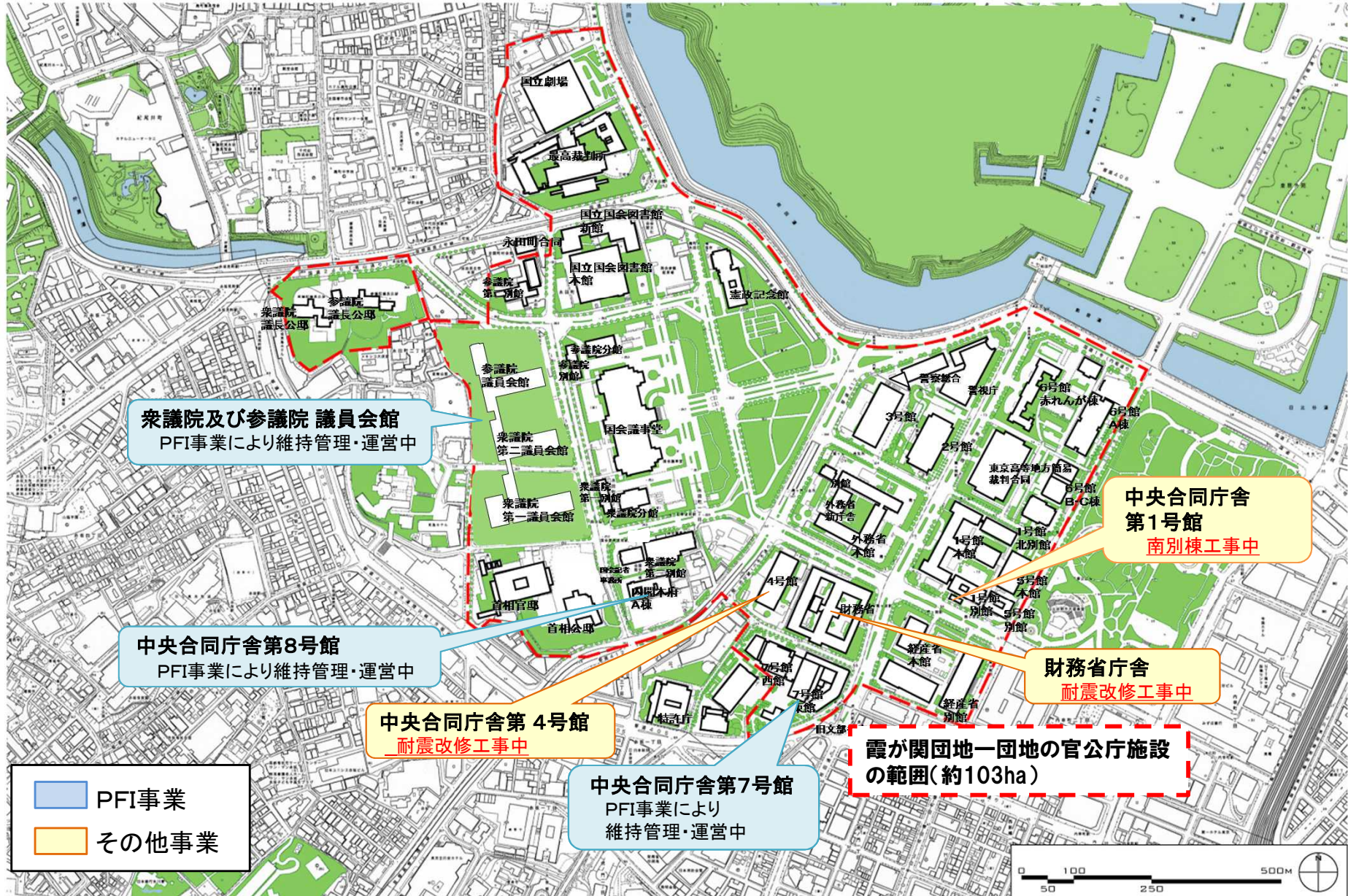
最近の官庁営繕行政について

■報告事項

霞が関地区の整備状況

霞が関地区の主な整備状況

平成20年6月答申「今後の霞が関地区の整備・活用のあり方」等を踏まえ、官庁営繕部は霞が関地区の官庁施設整備を推進。本年7月、中央合同庁舎第1号館南別棟の工事に着手。



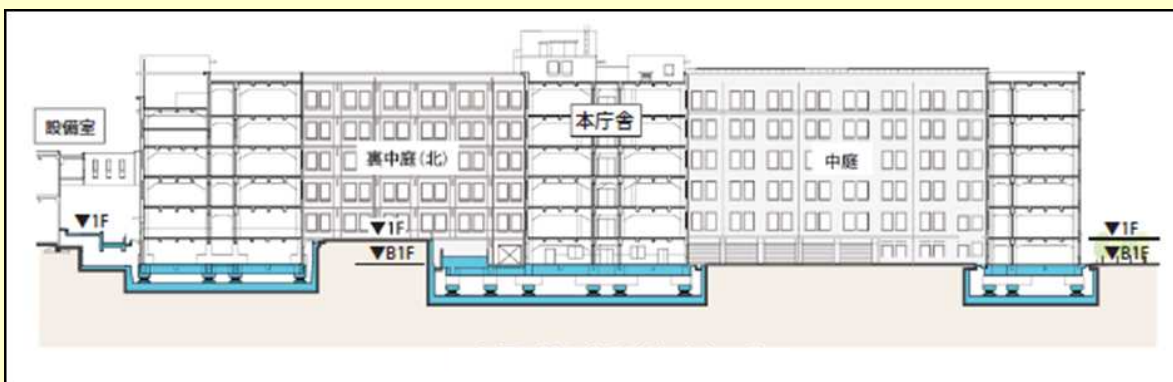
■ 財務省本庁舎耐震改修

○最新の科学的知見に基づいて検討された大地震(首都直下地震、南海トラフ巨大地震)の発生後においても、**災害応急対策活動拠点として、建物の継続利用が可能となるよう耐震性能の向上を目的とした耐震改修を実施。**

○**庁舎機能を維持しながらの工事を実現するため、基礎下免震改修工法を採用。**



事業内容	本庁舎の基礎下免震改修
事業期間	H27~H31工事(予定)
構造規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上5階地下1階 建築面積 11,870㎡ 延床面積 56,208㎡



基礎下免震改修工法 断面図

■ 中央合同庁舎第1号館南別棟新築

○霞が関地区初の木造(耐火建築物)庁舎



用途：保育所等
事業期間：H27設計
H28工事
構造規模：木造平屋建
面積：247㎡



中央合同庁舎第1号館 配置図